

(1) 州の概要

- 経済規模は、アイルランド、スウェーデン、ベルギーより大きい豊かな州。
- 欧州有数のハイテク産業集積地。主要産業は自動車産業、機械工業、医薬品。観光業も盛ん。優良な中小企業が多数。
- 研究開発に重点(特許出願件数(2024年):全独の38.7%(1位/16州)。バイオテクノロジー、IT、エネルギー・環境関連産業が重点)。2019年に実施された独エリート大学選考で11校中4校がBW州から選出。
- 伝統的に保守が強く、キリスト教民主同盟(CDU)が1953年以降一貫して州政権与党であったが、福島原発事故を受けた国内原発廃止論を追い風に緑の党が2011年3月の州選挙で大躍進を遂げ、緑の党のクレッチマン州首相を首班とする社民党(SPD)との連立政権成立。緑の党の中でも現実派とされ有識者の支持が高い同州首相の下、2016年3月の選挙では緑の党が第一党となりCDUとの連立政権成立。2021年3月の選挙後、緑の党とCDUの連立政権が継続。2026年3月に次回州議会選挙を予定。
- 大企業:メルセデス・ベンツ、ホルンエ、ボッシュ、SAP、ZF等。

(2) 日本との関係

- 在留邦人数 : 6,121人 (2024年10月)
- 日系企業拠点数 : 259拠点 (2024年10月)
- 対日貿易 : 輸出約44億ユーロ 輸入約33億ユーロ (2024年)
- 姉妹都市・友好関係:13都市(特に、2024年に35周年を迎えた神奈川県とBW州、35年に亘る交流を続ける松山市とフライブルク市、30年以上続く熊本市とハイデルベルク市等)
- 政府間・議員間交流
- ✓ 州政府要人の訪日: クレッチマン首相(2013年。当時連邦参議院議長)、ホフマイスター＝クラウト経済大臣(2018年2月。インダストリー4.0に関する覚書が業界団体間で調印された他、内田裕久氏をBW州駐日代表に任命)、ハーク農業大臣(2023年9月)、州議会学術・芸術委員会(2024年3月。オルショウスキ学術・教育大臣参加)、ヘルマン交通大臣(2025年3月)。
- ✓ 2014年、2024年、黒岩神奈川県知事が友好関係25周年、35周年の際にBW州を訪問。
- ✓ 2022年、西銘復興大臣がBW州を訪問。
- ✓ 2022年、武部農林水産副大臣がBW州で開催されたG7農業大臣会合に参加。
- ✓ 2025年、神奈川県議会議員団がBW州を訪問。



(3) 基本的事項

- 人口 : 1,125万人 (3位/16州、2024年)
- 面積 : 35,748km² (3位/16州、2023年)
- GDP : 6,502億ユーロ (3位/16州、2024年暫定値)
- 成長率 : -0.4%(全独-0.2%、2024年暫定値)
- 失業率 : 4.2%(全独6.0%、2024年)
- 州都 : シュトゥットガルト(人口約61万人、2024年12月)
- 州首相 : ヴィンフリート・クレッチマン(緑の党)